

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	6. ファシリティマネジメント事務費			
項	1. 土木管理費	細事業名				
目	2. 建築管理費	担当課・係	管財課	(執行課: 管財課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	964	要 求									964
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	まちづくりの推進に向けて / 成果と効率性を重視した行財政運営の推進 / 公共施設の管理運営状況を調査し、施設の										
	[ファシリティマネジメントに関する業務]	施策体系コード	06-01-05-10-10			事業番号	85-1						
	ファシリティに関する情報の集約及び市有建築物統括管理システムの導入を行い、一元的なデータベース管理及び共有化を図る。また、データの分析評価を行い、戦略的な中長期保全計画の立案、施設経営管理の最適化、維持管理コスト縮減策(インハウスエスコ)及び施設管理の業務支援等を行う。	総事業費	4,128千円			事業期間	平成20年度～平成22年度						
		年度別事業費	20年度	21年度	22年度								
			2,200	964	964								

(事業実施に関する根拠法令)

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) ファシリティに関する情報の集約及び共有化を図るため、データベース化を図るものである。	(事業の目的) 市有施設に関するデータベースをもとにファシリティマネジメントを推進し、市有施設の効率的な運営を図ることを目的とする。	(事業の効果) データベースの観測・分析により、短期的には光熱水費などの維持管理コストの縮減を図ると共に、中・長期的な視点においては各種施設のあり方に対する改善提案を行うことができる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)